

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度	普通河川木々津川河川改良工事 三原市 本郷南一丁目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">仕 様 書</div>					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工延長 L=104.5m 自由勾配側溝 L=100m プレキャスト集水柵 N=1基 場所打張コンクリート V=8m ³ 転落防止柵 L=7m 構造物取壊し工 V=1m ³							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷南一丁目 普通河川木々津川河川改良工事に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・**土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第2節 公害対策

- 1 事前・事後調査
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査区分 (設計変更の対象とする。)
調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲 監督員と協議するものとする
- 2 粉じん防止
管理内容 粉じん防止の散水
範囲 工事作業範囲

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中の交通誘導員は、工事期間中において1（人／日）を見込んでいる。ただし、配置については近接する広島県発注工事と調整を行うこと。

第4節 工事用道路

- 1 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」，「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

3 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は，再生資源利用促進計画の作成にあたり，建設発生土を工事現場から搬出する場合は，あらかじめ次に掲げる事項を確認し，また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては，当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 1. 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項，第16条第1項，第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては，当該許可を受けている。
 2. 当該行為が盛土規制法第21条第1項，第27条第1項，第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては，当該届出がされている。
- (3) 上記(1)，(2)に掲げる事項のほか，再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

4 運搬業者への通知

受注者は，建設発生土の運搬を行う者に対し，再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには，速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

5 確認結果票の掲示及び公表

受注者は，確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し，公衆の閲覧に供するとともに，インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

6 確認結果票の保管

受注者は，確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

7 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

8 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は建設発生土の利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

9 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

10 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節 その他

1 工事用機資材等の仮置き

場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

2 法定外の労災保険 の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月 広島版）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
河川改良		式	1	レベル1
河川水路工		式	1	レベル2
洗浄工		式	1	レベル3
水路清掃		式	108	レベル4
水路工		式	1	レベル3
自由勾配側溝	【B900×H1800】	m	100	レベル4
集水柵	【900×900×2000】 【Co規格,基礎Co規格】	組	1	レベル4
間詰コンクリート	【18-8-25BB】	m3	46	レベル4
擁壁工		式	1	レベル3
場所打張コンクリート	【18-8-40BB】	m3	8	レベル4
付属物設置工		式	1	レベル3
転落防止柵		m	7	レベル4
付属物設置工		枚	4	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル3
構造物取壊し工		m3	1	レベル4
殻運搬	【無筋コンクリート殻】	m3	1	レベル4
殻処分	【無筋コンクリート】	m3	1	レベル4

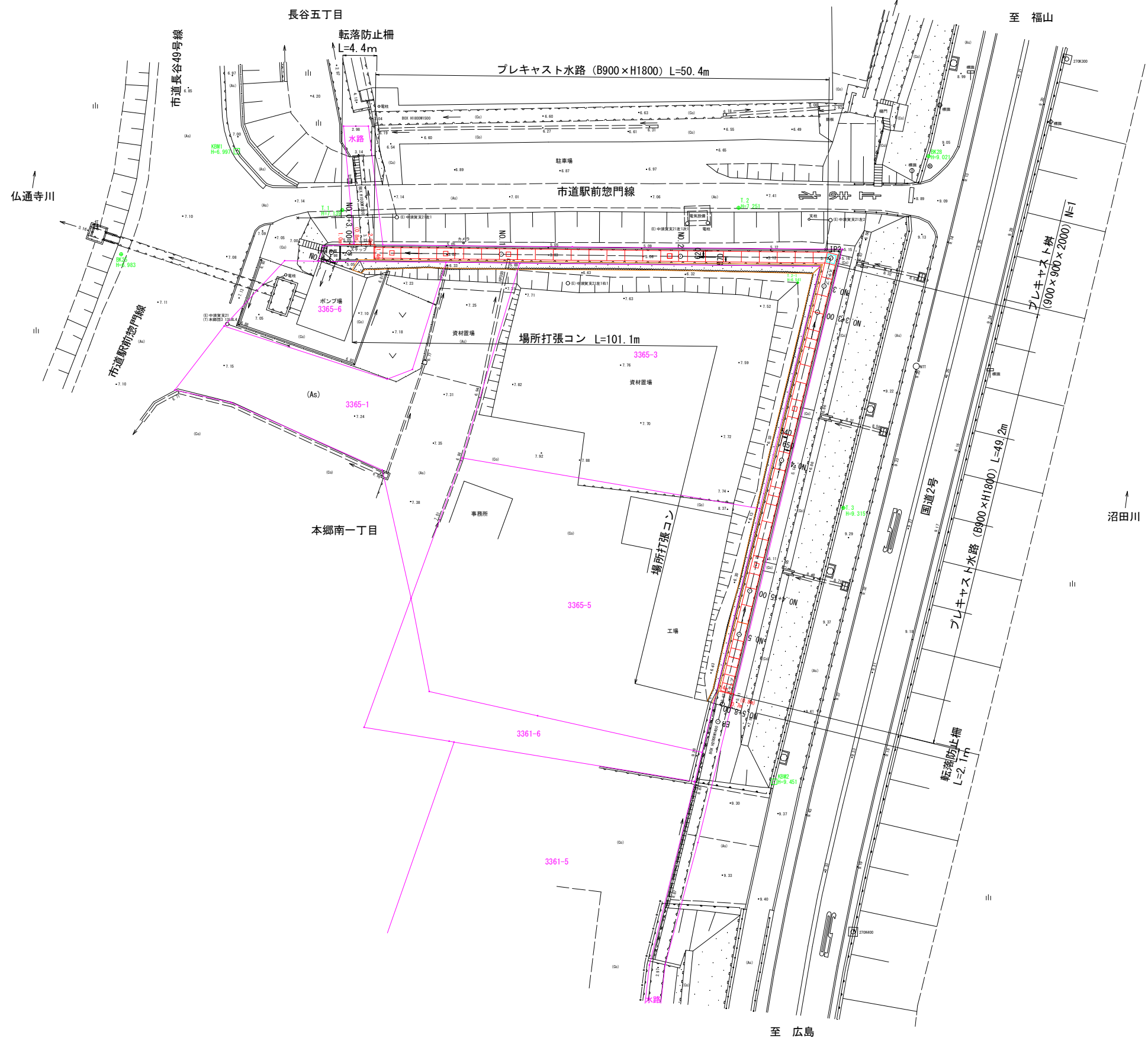
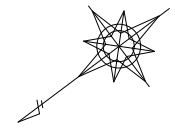
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮設工		式	1	レベル2
水替工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

図面番号	1/6	縮尺	1/250
工種	河川改良工事		
種別	平面図	番号	1/1
路線名 河川	普通河川 木々津川		
工事箇所	三原市本郷南一丁目		
三原市			

平面図

S=1:250

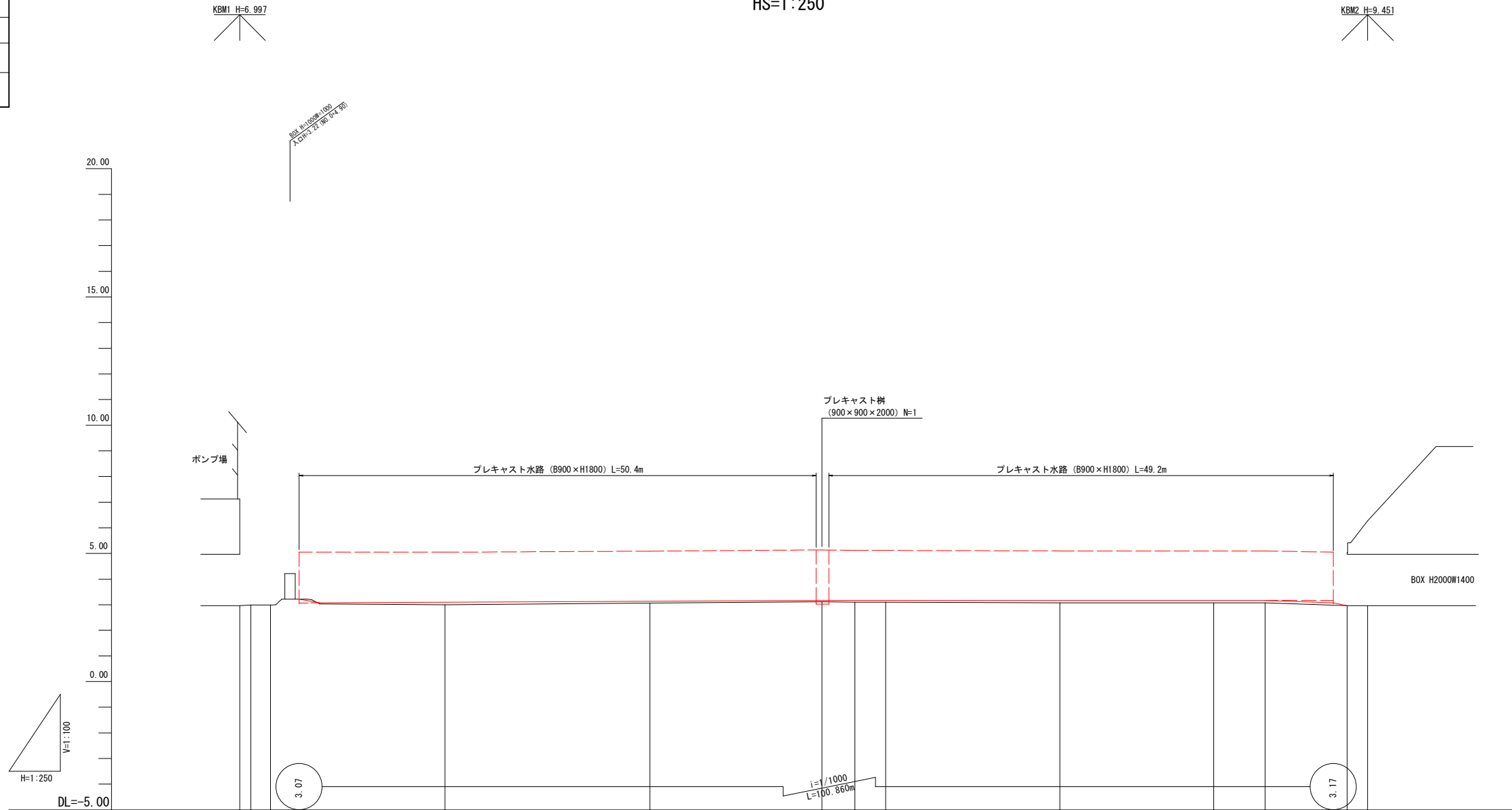


IP	IP座標	IA	IP間距離	X座標	Y座標
NO.0	143-32-00	1	0.73	-178661.948	77958.180
IP1	211-34-33	2	42.33	-178662.815	77958.813
IP2	320-37-41	3	103.03	-178706.967	77924.841
EP				-178665.827	77891.082

図面番号	2/6	縮尺	V=1/100 H=1/250
工種	河川改良工事		
種別	縦断面図	番号	1/1
路線名	普通河川 木々津川		
工事箇所	三原市本郷南一丁目		
三原市			

縦断面図

VS=1:100
HS=1:250

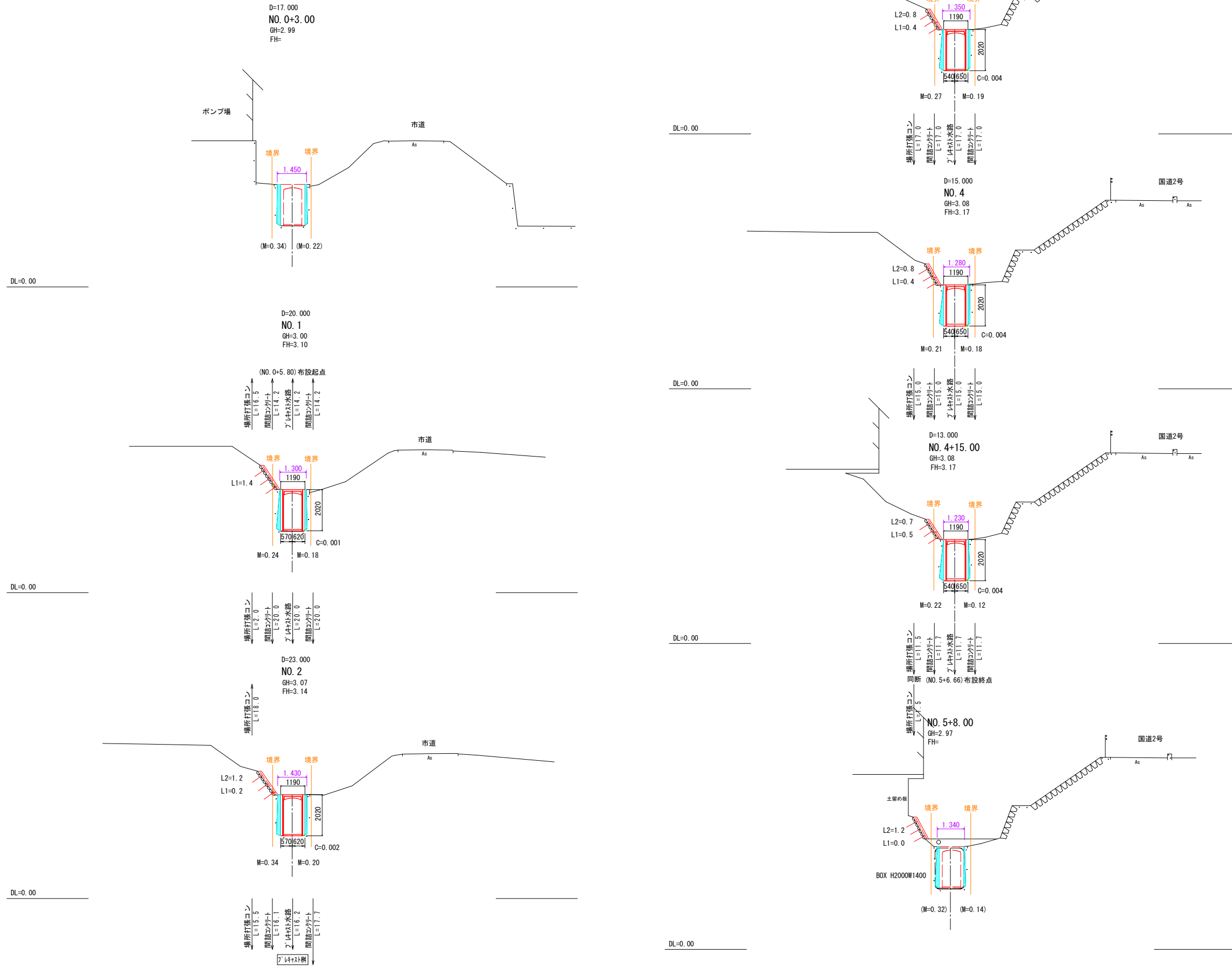


勾配図	[Profile diagram showing ground surface and waterway elevations with slope indicators]												
盛土	0.00	0.05	0.10	0.07	0.05	0.07	0.07	0.09	0.09	0.09	0.09		
切土													
計画高	3.22	3.07	3.10	3.14	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	3.08		
地盤高	2.97	2.99	2.99	3.00	3.07	3.12	3.10	3.10	3.08	3.08	3.08	2.97	2.97
追加距離	0.000	1.073	3.000	20.000	40.000	56.782	60.000	63.000	80.000	95.000	100.000	108.000	110.000
区間距離	0.000	1.073	1.927	17.000	20.000	16.782	3.218	3.000	17.000	15.000	5.000	8.000	2.000
測点	NO.0 IPI	NO.0+3.00	NO.0+5.80	NO.1	NO.2	IP2	NO.3	NO.3+3.00	NO.4	NO.4+15.00	NO.5	NO.5+6.66	NO.5+8.00 EP

図面番号	3/6	縮尺	1/100
工種	河川改良工事		
種別	横断面	番号	1/1
路線名	普通河川 木々津川		
工事箇所	三原市本郷南一丁目		
三原市			

横断面

S=1:100



凡例

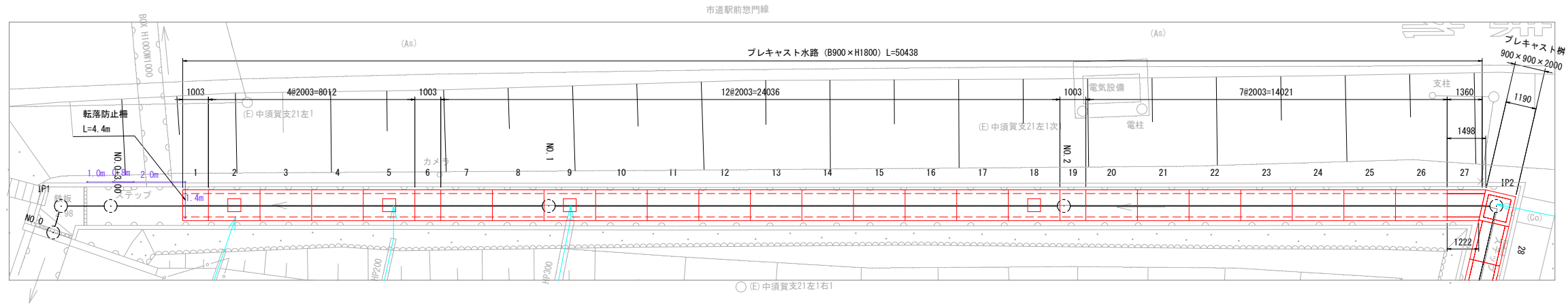
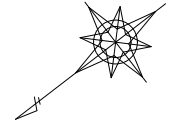
記号	工種	単位
M	間詰コンクリート	m ²
L1	場所打張コンクリート型枠長(官地)	m
L2	場所打張コンクリート型枠長(民間)	m
C	コンクリート取壊し	m ²

図面番号	4 / 6	縮尺	図示
工種	河川改良工事		
種別	水路参考割付図(1/3)	番号	1 / 1
路線名	普通河川 木々津川		
工事箇所	三原市本郷南一丁目		
三 原 市			

プレキャスト水路参考割付図(1/3)

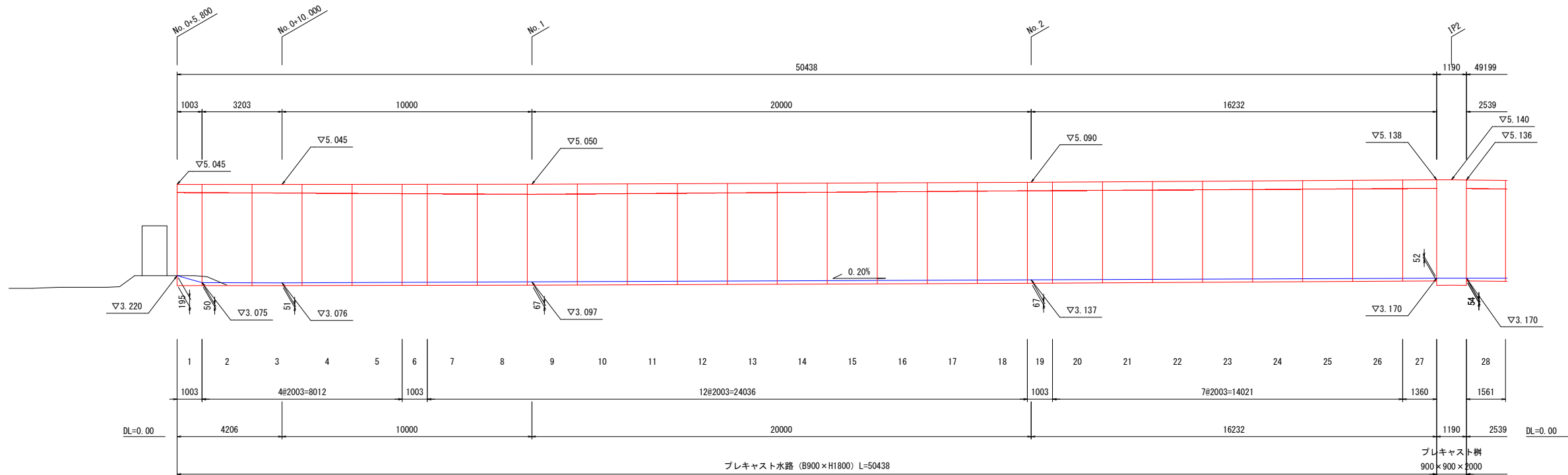
平面図
S=1:100

※この割付は施工の延びを3mm見込んでいます。



展開図

VS=1:50
HS=1:100

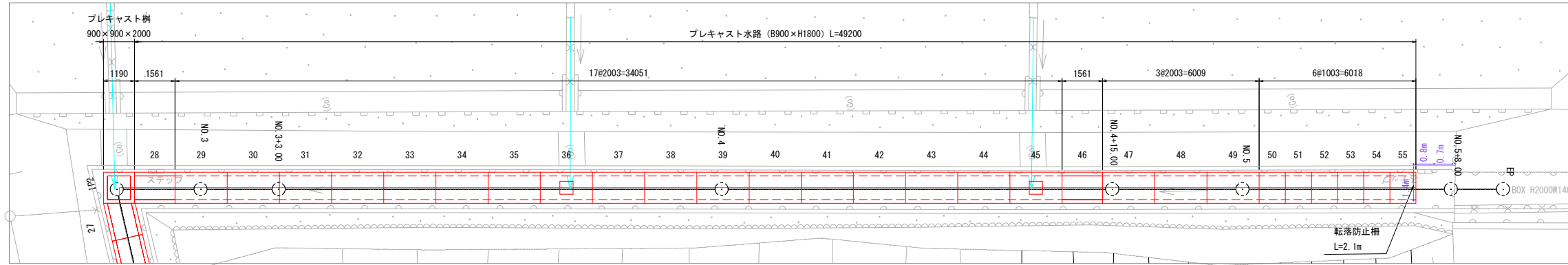
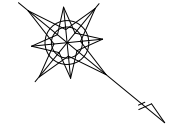


図面番号	5 / 6	縮尺	図示
工種	河川改良工事		
種別	水路参考割付図(2/3)	番号	1 / 1
路線名	普通河川 木々津川		
工事箇所	三原市本郷南一丁目		
三 原 市			

プレキャスト水路参考割付図(2/3)

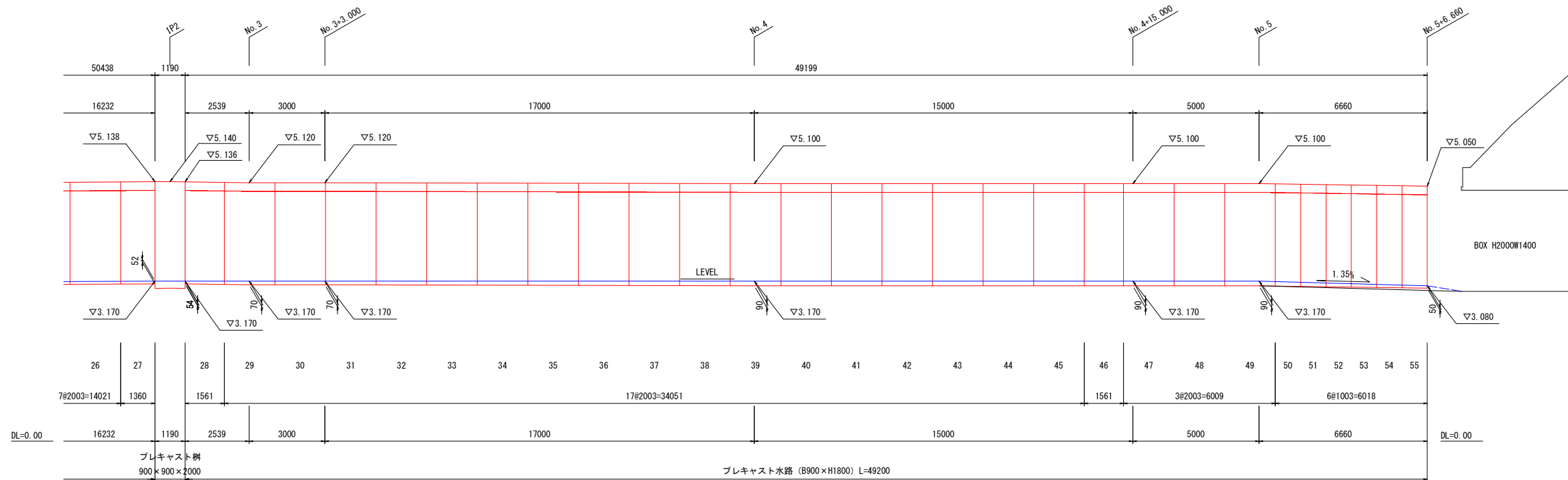
平面図
S=1:100

※この割付は施工の延びを3mm見込んでいます。



展開図

VS=1:50
HS=1:100

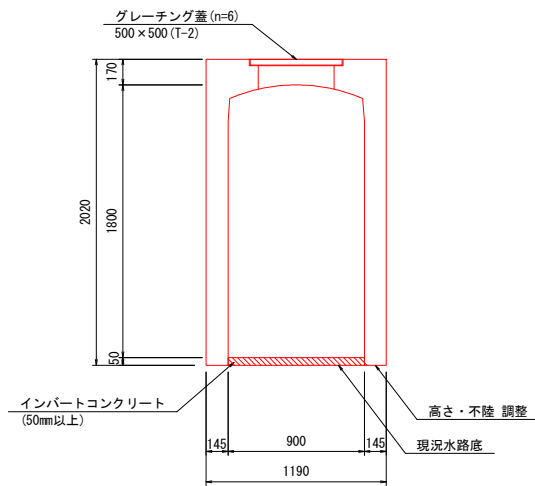


図面番号	6 / 6	縮尺	図示
工種	河川改良工事		
種別	水路参考割付図(3/3)・構造図	番号	1 / 1
路線名	普通河川 木々津川		
工事箇所	三原市本郷南一丁目		
三原市			

プレキャスト水路参考割付図(3/3)

標準断面図
S=1:25

プレキャスト水路
w900×h1800



プレキャスト水路数量表

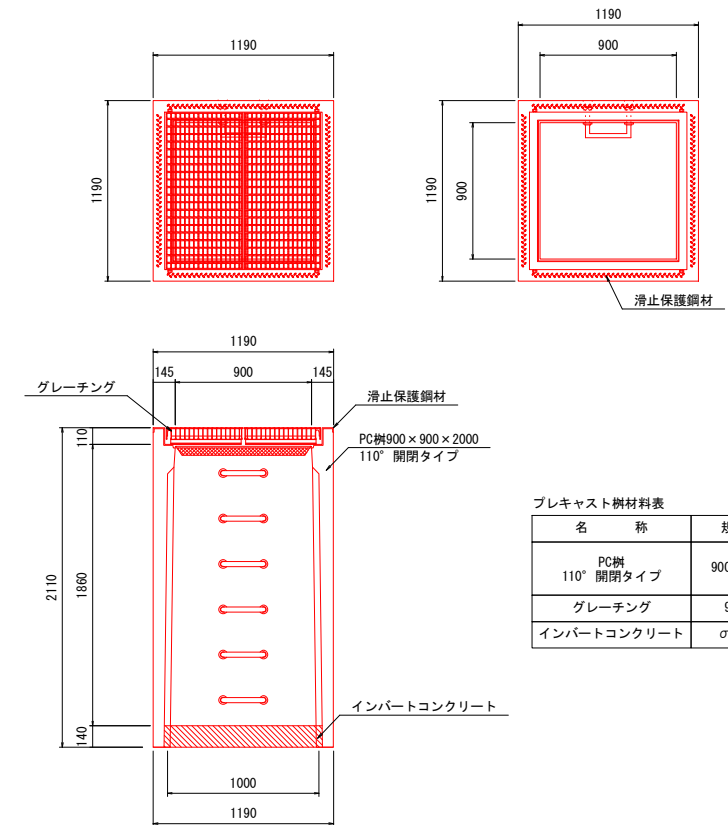
名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
プレキャスト水路 特配筋	900×1800	2000	暗渠	37	本		
		1000	暗渠	9	本	1・6・19・50~55	
		2000	暗渠 G500×500	6	本	2・5・9・18・36・45	
		1495/1219	暗渠	1	本	27	
		1558	暗渠	2	本	28・46	
合計				55	本		
グレーチング	900	500×500	T-2	6	枚		

※製品 No. 1 ~ 55を集計しています。
 ※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
 ※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

プレキャスト水路材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	6.457	m ³

プレキャスト樹
900×900×2000

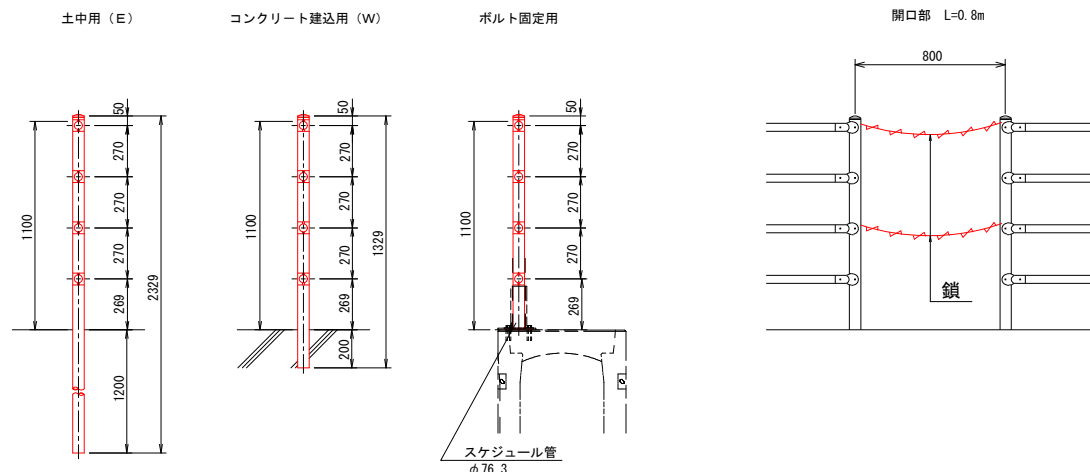


プレキャスト樹材料表 1基当たり

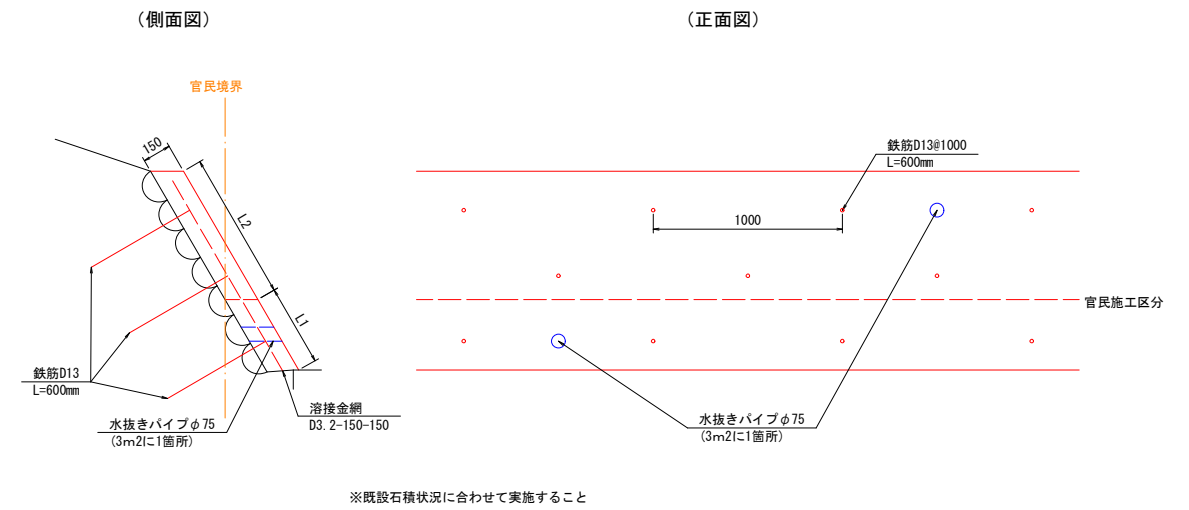
名称	規格	数量
PC樹 110° 開閉タイプ	900×900×2000	1 基
グレーチング	900×900用	1 枚
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.141 m ³

構造図 S=1:20

転落防止柵
(H=110cm)



場所打張コンクリート工
(参考図)



※既設石積状況に合わせて実施すること

積算資料

—普通河川木々津川河川改良工事—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.05.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川改良					Y1A01 レベル1
河川水路工	1	式			YLA0205 レベル2
洗浄工	1	式			YLA020501 レベル3
水路清掃	1	式			YLA02050101 レベル4
側溝清掃(人力清掃工) 無蓋	108	m			SPK22040361 00
水路工	108	m			単第0 -0001 表 Y1A011114 レベル3
自由勾配側溝 【B900×H1800】	1	式			Y1A01111404 レベル4
自由勾配側溝 900×1800 特殊配筋	100	m			SDT00015 00
	100	m			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝材料					V0001 00
	1	式			単第0 -0003 表
柵用グレーチング T-2 500 並目					F0006 00
	6	組			
集水柵 【900×900×2000】 【Co規格,基礎Co規格】					Y1A03070402レベル4
	1	組			
プレキャスト集水柵 据付 基礎碎石無し 製品質量(kg/基)2200kgを超え2800kg以下					SPK22040087 00
	1	基			単第0 -0004 表
自由勾配側溝柵 900**00*2000 普通目110°開閉グレーチング付 T-25					F0007 00
	1	組			
間詰コンクリート 【18-8-25BB】					Y1A01050303レベル4
	46	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設					SPK22040144 00
	46	m3			単第0 -0005 表
擁壁工					Y1L070603 レベル3
	1	式			
場所打張コンクリート 【18-8-40BB】					Y1A04110301レベル4
	8	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	8	m3			SPK22040144 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	54	m2			SPK22040146 00 単第0 -0007 表
溶接金網設置工 S0140001	77	m2			V0002 00 単第0 -0008 表
アンカー設置 S0282	135	本			V0003 00 単第0 -0009 表
目地板 瀝青繊維質目地板 t=10mm	1	m2			SPK22040114 00 単第0 -0010 表
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径75(89×2.7×4)	0.8	本			TH000298 00
ANマット S型150mm	18	枚			T0862 00
付属物設置工	1	式			Y1B010605 レベル3
転落防止柵	7	m			Y1L07060901 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵 土中建込 ビーム式・パネル式 [規]50m未満 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色	7	m			SS000141 00 単第0 -0011 表
付属物設置工	4	枚			Y1L07060505レベル4
境界鉄 設置 [規]10枚未満	4	枚			SS000097 00 単第0 -0012 表
構造物撤去工	1	式			Y1I061403 レベル3
構造物取壊し工	1	m3			Y1L07081502レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0013 表
足掛金物撤去工 S6578/2	5	本			V0004 00 単第0 -0014 表
殻運搬 【無筋コンクリート殻】	1	m3			Y1A01030202レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【無筋コンクリート】	1	m3			Y1A01030203 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 無筋コンクリート殻	3	t			F0008 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
水替工	1	式			Y1A011506 レベル3
土のう積	2	m2			Y1A01150112 レベル4
土のう拵え, 積立, 撤去工 土のう拵え, 積立, 撤去	2	m2			S1012 00
ポンプ排水 【排水量0以上40未満(m3/h), 常時排水】	16	日			単第0 -0016 表 Y1A01150601 レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 常時排水	16	日			S1050031 00 単第0 -0019 表
交通管理工	1	式			Y1A011521 レベル3
交通誘導警備員	20	人			Y1A01152101 レベル4
交通誘導警備員A	20	人			R0368 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事原価					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK22040087

単第0 -0004 表

据付 基礎砕石無し

製品質量(kg/基)2200kgを超え2800kg以下

1

基 当り

機械構成比: 7.95%

労務構成比:

89.78%

材料構成比:

2.27%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

14,587.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.50%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.45m3吊2.9t		KTPC00005 KTPT00005
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	38.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	17.48%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	6.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.15%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 39.30%

材料構成比: 60.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

26,628.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	23.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	60.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.59%

材料構成比: 68.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

23,623.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.41%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠

SPK22040146

単第0 -0007 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,707.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.44%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

溶接金網設置工
S0140001

V0002

単第0 -0008 表

頁0 -0017

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	2	人			
溶接金網<JISG3551> 線径4.0, 網目150×150mm 単位質量1.38kg/m2	100	m2			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

目地板

SPK22040114

単第0 -0010 表

瀝青纖維質目地板 t=10mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 38.83%

材料構成比: 61.17%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,941.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
目地板 瀝青纖維質板 厚10mm	61.17%		瀝青纖維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 瀝青纖維質目地板 t=10mm					

施工単価表

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0015 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

42.18% 材料構成比: 14.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,203.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

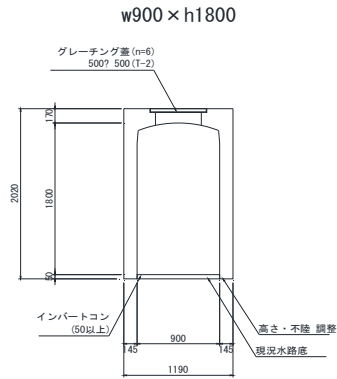
間詰コンクリート

数量計算書

測点	距離	左岸			右岸			摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
		0.34	-----	-----	0.22	-----	-----	
NO.1	14.2	0.24	0.29	4.1	0.18	0.20	2.8	
NO.2	20.0	0.34	0.29	5.8	0.20	0.19	3.8	
	16.1	0.34	0.34	5.5	0.20	0.20	3.2	
	1.6				0.20	0.20	0.3	
					0.19	-----	-----	
	1.9	0.27	-----	-----	0.19	0.19	0.4	
NO.3+3	5.3	0.27	0.27	1.4	0.19	0.19	1.0	
NO.4	17.0	0.21	0.24	4.1	0.18	0.19	3.2	
NO.4+10.0	15.0	0.22	0.22	3.3	0.12	0.15	2.3	
NO.5	11.7	0.32	0.27	3.2	0.14	0.13	1.5	
左岸L=99.3m								
右岸L=102.8m								合計
合計	102.8			27.4			18.5	45.9

プレキャスト水路断面図

一般部



プレキャスト水路材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	6.457	m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$		m ³
同上型枠	均し基礎型枠		m ²
基礎砕石	RC-40		m ²
現場打ち底版コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$		m ³
同上型枠	一般型枠		m ²
同上鉄筋	SD345		kg

プレキャスト水路数量表

備考 ※製品 No. 1 ~ 55を集計しています。
 ※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
 ※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
FV側溝	900 x 1800	2000	暗渠	37	本		
特配筋		1000	暗渠	9	本		
		2000	暗渠	6	本		G500 x 500
		1495/1219	暗渠	1	本	27	
		1558	暗渠	1	本	28	
		1558	暗渠	1	本	46	
合計				55	本	1~55	
グレーチング	900	500 x 500	T-2	6	枚		

インバートコンクリート数量計算

インバート コンクリート合計	6.457	m3
-------------------	-------	----

内訳

算式

(TL	+	TR) / 2 ×	w	×	L	=	V1	m3
(0.195	+	0.050) / 2 ×	0.900	×	1.003	=	0.111	m3
(0.050	+	0.051) / 2 ×	0.900	×	3.203	=	0.146	m3
(0.051	+	0.067) / 2 ×	0.900	×	10.000	=	0.531	m3
(0.067	+	0.067) / 2 ×	0.900	×	20.000	=	1.206	m3
(0.067	+	0.052) / 2 ×	0.900	×	16.232	=	0.869	m3
(0.054	+	0.070) / 2 ×	0.900	×	2.539	=	0.142	m3
(0.070	+	0.070) / 2 ×	0.900	×	3.000	=	0.189	m3
(0.070	+	0.090) / 2 ×	0.900	×	17.000	=	1.224	m3
(0.090	+	0.090) / 2 ×	0.900	×	15.000	=	1.215	m3
(0.090	+	0.090) / 2 ×	0.900	×	5.000	=	0.405	m3
(0.090	+	0.050) / 2 ×	0.900	×	6.660	=	0.420	m3
							99.637		6.457	

河川水路工

数量計算書

プレキャスト水路		集水柵			
測 点	延 長	測 点	箇 所	測 点	延 長
【W900-H1800】		【PC-900-900-2000】			
NO.1	14.2	IP.2	1		
NO.2	20.0				
	16.2	計	1		
計	50.4				
	5.5				
NO.4	17.0				
NO.4+15	15.0				
	11.7				
計	49.2				
合 計	99.6	合 計	1	合 計	

場所打張コンクリート工

数量集計表

名称及び測点	延長L	コンクリート	鉄筋	型枠	溶接金網	目地板	水抜きパイプ	吸出し防止材
			D13(0.995kg/m)		ひび割れ防止用	10mに1箇所	3m2に1箇所	3m2に1枚
		$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	L=600		D3.2-150-150		VUφ75	
単位	m	m ³	m, (t)	m ²	m ²	m ²	m	枚
		型枠面積×0.15	1mピッチ	計算書より	型枠面積/0.7	延長/10-1(箇所)	全型枠面積/3	型枠面積/3
			(101.1-1)×1(本数)		(重ね合わせ考慮)	101.1/10-1=9	平均延長0.18m	
			100.0			平均断面		
			((101.1-82.6)-1)×2(本数)			131.9/101.1×0.15=		
			35.0			0.20		
			100+35=135					
		54.0×0.15=	135×0.6		54/0.7=	9×2.0×0.41=	18×0.18=	54.0/3=
官地側	101.1	8.1	81.0	54.0	77.1	0.7	3.2	18
			W=0.08t	割合(0.41)				
			(82.6-1)×2(本数)					
			163.0					
		77.9×0.15=	163×0.6		77.9/0.7=	9×2.0×0.59=	26×0.18=	77.9/3=
民地側	82.6	11.7	97.8	77.9	111.3	1.1	4.7	26
			W=0.10t	割合(0.59)				
合計		19.8	178.8	131.9	188.4	1.8	7.9	44
			W=0.18t					

付属構造物工

数量計算書

転落防止柵		境界鋳			
測点	延長	測点	箇所	測点	延長
NO.0+3付近	1.0	NO.1+2.0付近	1.0		
	2.0	IP.2付近	1.0		
	1.4	NO.4+5.8付近	1.0		
		NO.5+8.1付近	1.0		
計	4.4				
		計	4.0		
NO.5+8付近	1.4				
	0.7				
計	2.1				
合計	6.5	合計	4.0	合計	

構 造 物 取 壊 工

数 量 集 計 表

名 称 及 び 測 点	コンクリート取壊し				足掛け金具			
単 位	m ³				個			
No.0+6付近	0.8	2.0×2.0×0.20	BOX前嵩上げ除去					
プレキャスト柵	0.1	1.2×1.2×0.09	9cm切下げ					
水路全延長	0.3	計算書より	水路底ハンチ					
No.2+18付近					5.0			
	1.2				5.0			

取り壊し工

数量計算書

測点	距離	アスファルト剥取り			コンクリート取壊し			摘要
		幅	平均	面積	断面	平均	立積	
					0.001	-----	-----	
NO.1	14.2				0.001	0.001	0.01	
NO.2	20.0				0.002	0.002	0.04	
	16.2				0.002	0.002	0.03	
					0.004	-----	-----	
NO.3+3	5.5				0.004	0.004	0.02	
NO.4	17.0				0.004	0.004	0.07	
NO.4+10.0	15.0				0.004	0.004	0.06	
NO.5	11.7				0.004	0.004	0.05	
合計	99.6						0.3	

仮設工

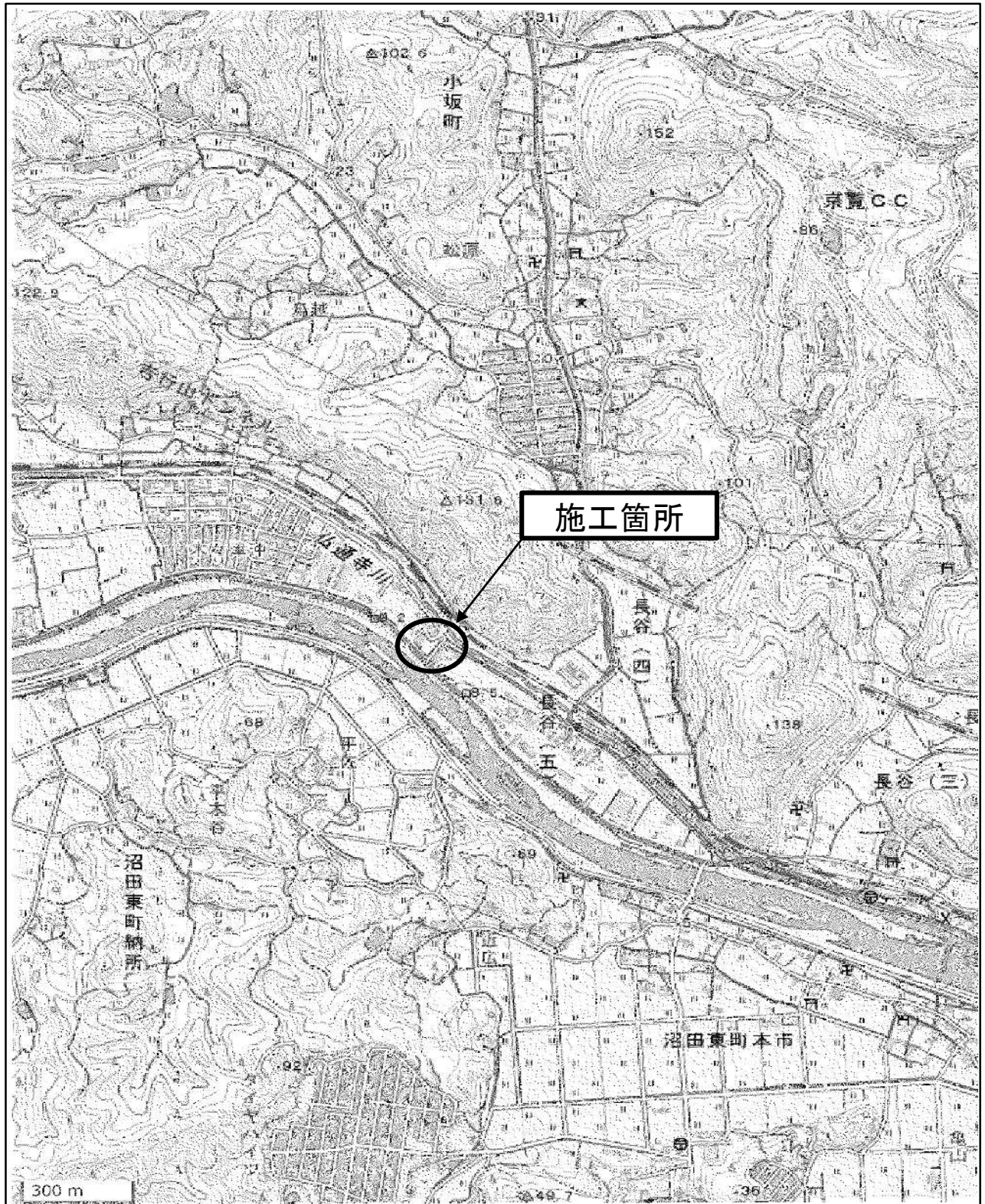
数量集計表

名称及び測点	土のう積							
単 位	m2							
No.5+8付近	1.6	2.0×0.8	幅員2.0m					
			締切水位0.5m+余裕高0.3m					
	1.6							

位置図

普通河川木々津川河川改良工事

(34.4009072, 133.0167895)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。